

スポーツで 地域を拓く

木田悟・高橋義雄・藤口光紀 [編] A5判・272頁 / 税込3150円 (本体3000円)
ISBN978-4-13-053020-0

「見るスポーツ」から、「参加するスポーツ」へ。「体育」とは異なるスポーツ像を提示し、それがもつ多様な効果と視点を活用した、行政やNPO・ボランティア組織と協働して進める地域活性化のためのデザインを、海外の事例も含めながら新たに提示する。



魂が共鳴するから何かが変わる
現代において最も難しいのが人と人を結ぶこと
その難題をこの本が解いてくれたのだ
(栗山英樹・北海道日本ハムファイターズ監督)

主要目次

I 座談 なぜ地域づくりにスポーツが求められているのか

(セルジオ越後・高橋義雄・藤口光紀・堀 繁・御園慎一郎・木田 悟 [司会])

II 地域づくりを支えるもの

第1章 地域社会を活かす——スポーツによる社会的効果とは
(木田 悟)

第2章 プロジェクトをつくる——スポーツを活用した地域課題の解決
(鈴木直文)

コラム：スポーツ・体育・健康の垣根を越えた“運動”と地域づくり
(大平利久)

第3章 組織をつくる——まちづくり、地域づくり推進のための組織の必要性
(木田 悟)

コラム：出雲スポーツ振興21によるスポーツコミッションの形成——出雲方式によるスポーツ振興と地域づくり
(白枝淳一)

第4章 人と組織をつなぐ——十日町市の活性化事例から
(福崎勝幸)

第5章 人を育てる——スポーツイベントによる人材育成と地域づくり
(丸田藤子)

コラム：マイナースポーツの協力から生まれた協働事業
(新居彩子)

第6章 クラブをつくる——Jクラブをつくることから考える地域づくり
(藤口光紀)

コラム：Jクラブと地域との連携
(池田健一)

第7章 地域を変える——プロバスケットボール チーム誕生と地域社会 (高島靖明)

コラム：地域政策推進の担い手となるプロサッカークラブ——イングランドにおけるFootball in the Community
(北村 俊)

第8章 政策を定める——日本のスポーツ政策と地域活性化
(御園慎一郎)

コラム：組織委員会から見えるまちづくりや地域活性化へのヒント——“スポーツコミッション”への胎動
(大前圭一)

第9章 経済が活きる——スポーツイベントと地域経済の活性化
(高橋義雄)

コラム：スポーツと文化による地域活性化——メキシコとカナダの事例
(ギジェルモ・エギャルテ)

日光アイスバックス シニアディレクター

セルジオ越後

せるじおえちご

ブラジルサンパウロ生まれ。少年時代からサッカーを行い、地元名門サッカーチームでプロデビューし、その後、日本リーグで選手として活躍。引退後は、全国で少年サッカーの普及・指導に努める。その後、サッカー解説者としてテレビ・新聞で辛口コラムを述べるなど、日本サッカー界の向上に寄与。2006年からは、日光アイスバックス シニアディレクターに就任し、日光の活性化に資する活動も展開中。

広島経済大学 経済学部 スポーツ経営学科 教授

藤口光紀

ふじぐちみつりのり

群馬県生まれ。慶應義塾大学在学中にサッカー日本代表に選出。大学卒業後はJリーグ浦和レッズの前身となる三菱重工サッカー部の一員として日本サッカーリーグで活躍し、引退後はチーム・試合運営に携わる。2006年、浦和レッズの球団社長に就任。ホームゲーム年間観客数100万人を達成しアジアを代表するクラブへと導く。現在は、「スポーツを通じたまちづくり」をライフワークとしている。



秋田プロバスケットボールクラブ株式会社 専務取締役

高島靖明

たかばたけやすあき

岡山県倉敷市生まれ。筑波大学卒業後、木下サーカス株式会社に入社し、全国12都府県にてサーカス興行に携わる。2008年、「秋田プロバスケットボールチームをつくる会」を立ち上げ、その後、秋田県初のプロスポーツチーム「秋田ノーザンハビネッツ」を設立し、2010年シーズンよりbjリーグに参入。現在、4年目のシーズンを迎えている。

注文書

『スポーツで地域を拓く』

会社名

お名前 (ふりがな)

ご住所 〒

冊 注文します

お電話番号